

学校長 小林 浩子



ゆめをのせて

十日町市立ふれあいの丘支援学校

令和7年11月28日発行 vol. 7

令和6年度「いじめ見逃しゼロ標語・ポスター」金賞受賞小学部共同作品

中学部 職場体験学習(ふれあいミニジョブ)・校内実習



「株式会社メイケン」で金具にピンを差し込む作業をしました。2日間で4810個を仕上げました。



「にじのそら(就労継続B型)」でゴム製品のバリ取り、車の部品のはめ込みの仕事をしました。



校内実習でチラシ折り、ペットボトルつぶしなどの軽作業や清掃をしました。

小学部 同世代間交流(西小学校)



西小学校と交流をしました。はじめにじゃんけん列車をして、お互いの緊張をほぐしました。



グループに分かれて花いちもんめをしました。明るい笑顔がたくさん見られました。



ボーリングでは、「すごい！」などの応援の声がたくさん聞かれました。

中学部2・3年生は職場体験実習(ふれあいミニジョブ)、1年生は校内実習に取り組みました。職場体験実習では、市内の4つの事業所にお世話になりました。今年度から「にじのそら」と「株式会社メイケン」からも受け入れていただき、仕事をさせていただきました。学校よりも長い時間の活動でしたが指示をよく聞き、時間いっぱい仕事に取り組むことができました。1年生も校内実習を通して「働くために必要な力」に気付く機会となりました。この貴重な経験を日頃の学習へとつなげ、それがさらに将来の就労の土台となっていくよう支援を継続していきます。

26日(水)に小学部は、西小学校との同世代間交流に取り組みました。花いちもんめやだるまさんが転んだ、ボウリングなどの遊びやゲームを西小学校の4年生が考えてきてくれ、ゲームを通して触れ合いを深めました。今年度2回目ということで、前回よりもお互いに声を掛けたり、関わったりする様子が多く見られ和やかな交流活動となりました。



今の学びが未来へつながる

校長 小林 浩子

初めての降雪も見られた11月は、同窓会や中高連携事業など、これまでのつながりと新たな出会いを感じる機会が多い月となりました。

昨年発足した同窓会は、後援会からの多大なご支援をいただき、11月8日(土)に第2回同窓会総会及び交流会を開催することができました。30名近くの卒業生、保護者や旧職員などを合わせると総勢60名でした。久しぶりに学校へ戻ってきた卒業生は、仲間とカラオケやボッチャを楽しんだり、みんなでエビカニクスを踊ったり、校歌を振り付きで元気よく歌ったりしました。その姿からは、ふれあいの丘で学んだことや仲間との思い出が今も確かに残っていることが伝わってきました。感想発表やアンケートから、「来年もみんなに会えるようにお仕事がんばります」という言葉をもらいました。卒業生がそれぞれの場所で自分らしく生活し、社会の一員として歩んでいるたくましさを感じ、学校はいつでも帰ってこられる「心と身体の居場所」であり続けることの大切さを改めて実感しました。



素敵なお菓子をプレゼント

また、中学部では、ふれあいミニジョブや川西高等支援学校との中高連携事業を実施し、生徒は緊張しながらも社会で働くことや高等部の作業を経験しました。今年度から、中高6年間で職業教育を進めていく「キャリア・トレイル6」事業も始まりました。本校からの参加は1名でしたが、実際に校外で作業を行い、力をつけていく経験は、大きな学びとなります。生徒からも、「一日立ち仕事で大変だった」「初めは不安だったけど、教えてもらってできるようになって楽しかった」などの感想がありました。(※実際の様子は、学校ホームページで紹介しています。)

本校では、「共生の理念」を教育活動の根幹にかかげ、人との関わりから学ぶ交流活動を重視して進めています。人と関わる力、思いを伝える力、相手を思いやる力は、人とのつながりの中で培われる、生きていくうえで欠かせない力です。小学部段階で、人との関わり基礎となる力を培い、中学部で地域や社会に貢献していこうとする力を育む。こうした経験が、卒業後の学校生活や社会生活につながる大切な力となっています。これからも、「今の学びが、将来の生活につながることを大切にしながら、日々の授業や活動を行っていきます。小さな成功体験や失敗からの学びの積み重ねが、やがて自信となり、自分の人生を歩む力になると信じています。これからも、子どもたちの「今」と「未来」をつなぐ学校づくりのために、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～～～ 心について考える⑥ 「感情は 生きるための力」 ～～～

心理学者のポール・エクマンは、感情を「人間の適応のために進化した反応」と捉えました。恐怖、不安、喜び、驚きなどは、行動を止めるものではなく、「どう行動するかを選ぶためのサイン」と考えられています。新しい活動や交流活動の前には、子どもたちは少し緊張した表情を見せます。心理学では、このドキドキを「行動に向かうための準備の感情」と考えます。不安や緊張は悪いものではなく新しい場へ踏み出す力でもあるのです。そして、安心できる大人や友達がそばにいることで、人は挑戦できるとも言われています。どの感情も人間にとって必要、大人が「ドキドキしているね」と気持ちに名前をつけて受け止めることで、子どもたちは自分の感情と上手につきあう力を育てていきます。



保健の窓

冬の季節は、気温の低下、空気の乾燥、室内の密閉といった環境要因に加え、呼吸器感染症や消化器感染症の流行など、私たちの健康を脅かす要因がたくさんあります。そのためにも基本的な予防策を徹底することで感染症の予防に役立ちます。今年の冬は、元気に過ごしましょう。

基本的な予防策

① 手洗いと手指消毒の徹底

外から帰った後、食事の前、咳やくしゃみをした後には、石鹸と流水で丁寧に手洗いをしましょう。アルコール消毒も併用することで効果的にウイルスを除去します。

② 適切な湿度と換気

室内の湿度を40%以上に保つよう心がけましょう。また、定期的に窓を開けて換気を行いましょう。

③ マスクの着用

流行する時期や人込みに出かけるときはマスクを着用しましょう。感染防止、感染拡大も防ぐことができます。

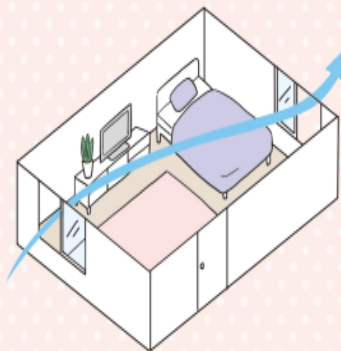
④ 十分な休養と栄養

十分な睡眠をとり、バランスの取れた食事を心がけることで体の免疫力を高めることができます。無理せず、規則正しい生活を心がけましょう。

冬の部屋 の 環境を整えよう

かぜやインフルエンザなどの感染症を防ぎ、元気に過ごすために、次のことに注意しましょう。

- ☐ 換気をする
(空気が流れるように、「2か所・2方向・対角」を意識して、窓やドアを開ける)
- ☐ 適度な湿度を保つ
(加湿器を使う、ぬれたタオルを室内に干す)
- ☐ 眠るときは、部屋を暗くする



体が喜ぶ ホットな対策

「今日は体調があまりよくないな～」と感じることはありませんか？もしかしたら、それは体の冷えが原因かもしれません。体がホッとするように、ホットな対策で、冷えを取りましょう。

おすすめのホットな対策

ホットドリンクを飲む



お風呂で温まる



下着で保温する



首・手首・足首が冷えないように、マフラーや手袋、靴下を使う



今後の予定

12月の予定

1	(月) 外国語活動
2	(火) 中学部郡市集合学習
3	(水) 第2回中高連携事業
4	(木) 三施設ビックフェスタ、全校朝会 人権教育・同和教育強調週間(～12日)
5	(金) 中学部3年進路面談(～12日)
9	(火) 小学部やまびこ班遊び
10	(水) 小学部ちんころ教室
13	(土) ほほえみの会クリスマス会
24	(水) 2学期 終業式(給食後13:30下校)
25	(木) 冬休み
29	(月) 年末・年始の休日 (～1月3日)



お知らせ

第2回同窓会総会・交流会が行われました!

11月8日(土)に第2回同窓会総会並びに交流会がふれあいの丘支援学校を会場に行われました。当日は、約60名(同窓生、保護者、同窓会役員)が参加しました。総会では、会則の改正や新しい役員案が承認されました。交流会では、ボッチャ、カラオケ、カードゲームを自由に選択できるような形で楽しみました。久しぶりの再会を喜んでいるような笑顔が多く見られた会となりました。



赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました!

今年度の募金総額は 2,238 円でした。集まったお金は、新潟県内の福祉活動に使われます。ありがとうございました。

〇学校運営協議会と後援会役員会がありました!

11月6日(木)に第2回学校運営協議会が行われました。前期の教育活動の報告を学校から行い、その後委員との意見交換を実施しました。委員の皆様からもたくさんの質問や激励があり、有意義な時間となりました。また、19日(水)に第2回後援会役員会が行われました。後援会費の納入状況や中間決算報告等の議事について協議が行われました。11月現在、約190の後援会員の方々から会費を納入いただいております。すでに様々な教育活動に活用しております。後援会のご協力に感謝申し上げます。保護者の皆様へ「後援会だより」を配付いたします。お読みいただき、後援会事業についてご確認いただけるとありがたいです。



十日町市立ふれあいの丘支援学校

〒948-0022 新潟県十日町市学校町1丁目614番地32
TEL 025-752-7471 FAX 025-752-7472
✉ tokamachi.fureai-ss@edu-niigata.ed.jp

